５年前に考えた島本町活性化アイデアはどこまで実現したの？

５年間を振り返り、５年後の「島本町」と「自店」のにぎわい像を描く

第１６回しまもと・にぎわい・地域活性化交流会(2019年度1回目)

議事録

令和元年7月22日（月）14：00～16：00　in　島本町商工会

岩橋マネジメントサービス　中小企業診断士　岩橋　亮

本日の構成と進め方

１．ご挨拶(しまもと･にぎわい･ねっとわーく推進委員会･長井会長)

２．本交流会の目的･経緯確認

３．５年前のしまもと地域活性化アイデアの検証

４．５年後の島本町と自店のにぎわいを考える

※　途中休憩１０分程度を予定

Copyright(c) Iwahashi Management Service All Rights Reserved.

1. ご挨拶(しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会・長井会長)

5年で島本町はとても良くなっている。主婦、女性で事業をしたい人が出てきている。
イベントをするだけでなく、収益を得ようとする意識の人が増えてきた。
これは小さい町にとっては非常に大きな成果。

女性が活躍できて主婦が地域の中で活躍できる。
そういう人が提案できるまちづくりへ。

5・6年前は単に現状を批判をしているだけだった。
今はそうではない。「自分たちでするので手を結んで良くなっていきたい」となっている。
その中で、行政がしていただけるところは行政となっている。
5年が経ち、しまもとのにぎわいが実を結んできている。

地元の人が主体で地域の課題をどう解消するか。
商工業者で創業支援をし、主婦の意見を聴いてどうしていくか。
そういう視野を含めたことが、次の5年に向けてのテーマ。

手作り市の委員長は毎年マイナーチェンジをし続けているのがとても良い。
一回で終わりではなく、ゆっくりネットワーク化して、みんながどこかで関与していける力になっていければと考える。

Copyright(c) Iwahashi Management Service All Rights Reserved.

２. 本交流会の目的･経緯確認

「しまもと・にぎわい・ねっと」における地域活性化の定義

（1）町内外の多くの人に島本町のことを知ってもらうこと

（2）イベントの結果として、島本町内商工業者の業績向上につながること

（3）観光・イベント目的で町外から人を島本町に集めること

（4）自然、歴史、文化等島本町の魅力・観光資源をピーアールすること

（5）島本町の住民に島本町をもっと好きになってもらうこと

Copyright(c) Iwahashi Management Service All Rights Reserved.

２０２４年の島本町ビジョン（私達がこんな島本町にしたい）

本日・話し合うテーマです

誰かから押し付けられたものではなく、
自分たちで創り上げ、実現していくものを

Copyright(c) Iwahashi Management Service All Rights Reserved.

しまもと･にぎわい地域活性化交流会の役割

島本町を良くしようと活動するお互いの相互理解を深める場

積極的に行動する人が気づきや、協力、コラボを得られる場

新しいメンバーを積極的に受け入れ、新たな連携を構築する場

島本町にぎわい地域活性化の
最新情報の共有と連携のきっかけづくりの場

しまもと・にぎわい地域活性化交流会の歩み①

平成25	H25.5.31 第一回『島本音楽フェス』開催
	H26.3.3　島本町地域活性化交流会～地域資源を活用した地域活性化～
平成26年度	H26.6.9　１回目　自己紹介と地域活性化の目標共有
	H26.7.14　２回目　横のつながりの強化
	H26.9.8　３回目　『島本町のにぎわい・活性化』のためにこれから何をすべきか
	H26.10.27　４回目　『短期的に実現可能性の高い企画と具体的な中身の検討』
	H26 フェイスブックページ『しまもと・にぎわい・ねっと』開始
	H27.1 みなせ名店街『MINASE MARKET PLACE』 H27.4 水無瀬商店街『 第三土曜市』開始
平成27年度	H27.4広報しまもと『しまもと・にぎわい・ねっと』欄開始
	H27.7.10　５回目　『Kenchiくん・MINASE MARKET PLACE発表・しまもと・にぎわい・ねっと』
	H27.10.22　６回目　『しまもと・にぎわい・ねっと運用方針検討、しまもと・にぎわい・ねっとわーく推進委員会発足』
	H27.12.5　『 第三土曜市』『MINASE MARKET PLACE』『Kenchiくん』『100円商店街』同時開催

しまもと･にぎわい地域活性化交流会の歩み②

平成28年度

- H28.5.24　7回目　しまもと･にぎわい･ねっとを商売繁盛につなげる方法
- H28.8.2　地方創生加速化交付金事業に島本町の『水と緑のおもてなしのまち　島本町　西国街道をつなぐプロジェクト』が選ばれる
- H28.9.27　8回目　各団体の取り組みについての意見交換･地方創生加速化交付金事業
- H28.12.16　「離宮の水」ブランド協議会設立
- H29.2.8　9回目　各取り組みの進捗状況の共有と意見交換
- H29.3.5　アメリカ合衆国ケンタッキー州フランクフォート市との姉妹都市提携

平成29年度

- H29.6.28　10回目　加速化交付金事業の現状
- H29.8.1　離宮の水ブランド認証商品お披露目（11品目）
- H29.8.7　島本町公式マスコットキャラクター決定　『みづまろくん』
- H29.10.16　11回目　ゲストハウス、体験、離宮の水で島本町の観光事業をこの先どうする？
- H30. 2.19　12回目　島本のにぎわいと事業の今後をつなげて考える

しまもと･にぎわい地域活性化交流会の歩み③

平成30年度	H30.6.29　13回目　しまもと･にぎわい･ねっとを商売繁盛につなげる方法
	H30.7.2　第11回しまもと手づくりコミュニティ市で摂津市と相互協力実現
	H30.7　離宮の水ブランド認証商品追加（4品目）
	H30.10.22　14回目　参加理由から『ニーズ』と『宣伝方法』を考えるワークショップ
	H30.2.22　高槻市と観光振興に関する連携協定を締結
	H31.3.6　15回目　お店の売上増を目指すリピーター･ファンづくりワークショップ
令和元年度	R1.7.22　16回目　5年間を振り返り、5年後の「島本町」と「自店」のにぎわい像を描く
	R1.10予定　17回目　テーマ検討中
	R2.2予定　18回目　テーマ検討中

しまもと・にぎわい創造の原点

一人の商工会職員の熱い思いからはじまった

思いを形にする事業者が自ら動き出した

意欲的な新たなメンバーが加わり、連携が生まれた

主体的な事業者・団体が商工会・島本町のサポートを受けられる環境ができた

島本町の毎月人口の推移

Copyright(c) Iwahashi Management Service All Rights Reserved.

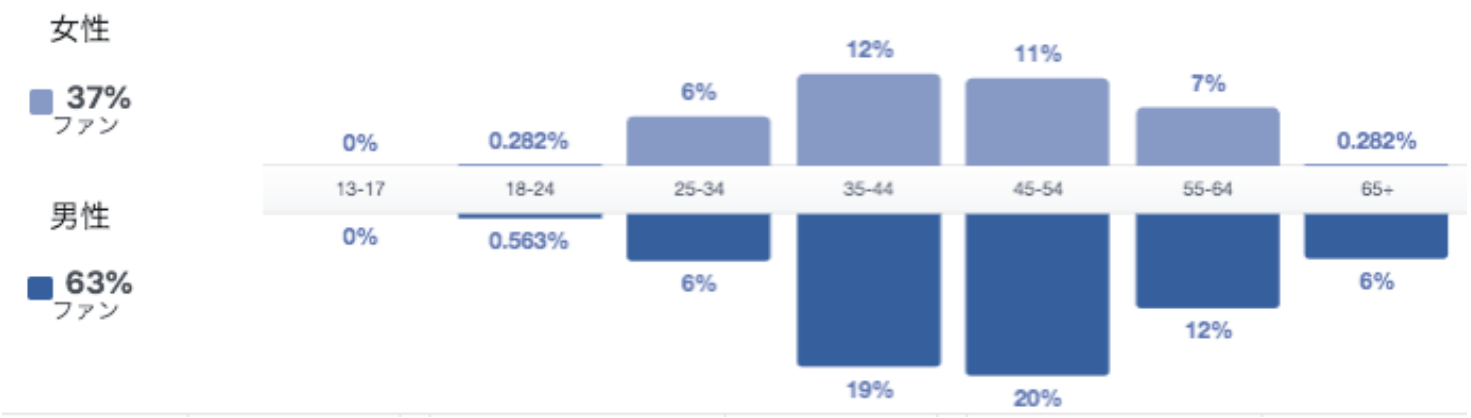
フェイスブックページ『しまもと・にぎわい・ねっと』の現状

＜“いいね！”数推移＞

2015.3.31・・・183人
2016.3.31・・・269人
2017.1.31・・・321人
2018.2.10・・・354人
2018.6.19・・・360人
2018.10.22・・・360人
2019.2.19・・・354人
2019.7.9・・・355人

内訳	2017/1/31	2018/10/22	2019/7/9
島本町	105	143	119
大阪市	44	30	50
高槻市	38	38	40
京都市	23	18	25
茨木市	9	10	11
大山崎町	5	6	4
その他	97	115	106
合計	321	360	355

＜年齢構成＞



３．５年前のしまもと地域活性化アイデアの検証

H26.3.3島本町地域活性化交流会のテーマ

みなさんにとっての地域活性化とは？

島 本 町 の 魅 力 と 活 用 ア イ デ ア

ブレーンストーミングの様子

当時出たアイデアの検証①

【地域資源・特産品】		
評価	当時のアイデア	現在
◎	名水百選・・・水　を特産品に。	離宮の水ブランド
○	島本町天然水の販売 島本の水はおいしいことを知ってもらう 水をペットボトルに入れて名産として売る	島本まちの水～いおり～
	島本町のタケノコ・しいたけで名産・名物 タケノコ・しいたけで肉まん	
	「お土産ありますか？」と聞かれる。イチオシがでてこない。 町特産品・名物などの販売・流通 島本町の特産等を外部に発信して外から呼び込む	
	農業者・林業者を巻き込んだ取り組み。 竹炭商品・竹製品（竹べら・ストラップ・おもちゃ）農産物をつくった惣菜づくり サントリーウイスキーのつまみ・あて	
	サントリーさんと協力したイベント	

当時出たアイデアの検証②

【交流・イベント開催】		
評価	当時のアイデア	現在
◎	町内各所で定期市・定期イベントが開催される。一過性で終わらせない	しまもと手作りコミュニティ市 MINASE MARKET PLACE 第３土曜市　第４火曜市 みなせ野オーガニックマーケットなど
	歴史文化資料館前で青空市	
	住民間での交流が活発に行われている。	
	夏祭りで花火大会・観光ショップ出展	
◎	町内大小イベントの周知	しまもと・にぎわい・ねっとフェイスブック 島本町広報しまもと・にぎわい・ねっと欄
○	若者を中心にイベントを企画するチーム・団体をつくる	SMALL
◎	音楽・踊りのイベント 高槻ジャズストリートを真似て、小学生・幼稚園児のフリー・ジャズイベントの開催	島本音楽フェスティバル

当時出たアイデアの検証③

【観光】		
評価	当時のアイデア	現在
	観光客が来たくなる町・イベント開催 観光客の増加 今ある観光資源を活かして町外から観光客を増やす取り組み	
	自然環境を活かした観光資源	
○	グルメマップの作成による観光客PR	
	列車写真コンテスト	

【歴史・文化】		
評価	当時のアイデア	現在
○	水無瀬ごまを使った中小規模大会開催	
	楠公さん（楠木正成）の活用	
	天王山対決イベント（大阪・京都）	
	名所・旧跡スタンプラリーを小学生の遠足で行う	

当時出たアイデアの検証④

【商店街・空き店舗】		
評価	当時のアイデア	現在
○	商店・営業所などの増加。 空き家・空き店舗がなくなる。 空き店舗・商店街の活用。	創業塾実施　創業者の増加 手作り市からの起業
◎	イルミネーションの利用による活性化	島本町イルミネーション
	島本センターで中学生の 販売体験（職業体験）	
◎	百円商店街や手作り市の定期開催で 活気を取り戻す	しまもと手作りコミュニティ市 MINASE MARKET PLACE 第３土曜市　第４火曜市 みなせ野オーガニックマーケットなど

【島本町のシンボル作成】		
評価	当時のアイデア	現在
◎	ゆるキャラ、キャラクターを作る	みづまろくん

当時出たアイデアの検証⑤

【自然】		
評価	当時のアイデア	現在
	ホタルのイベント	
◎	尺代釣り・宿泊	尺代テンカラプロジェクト
	八幡市と渡し船イベント共催	
	キャンプ場	
	島本草・花マップをつくる	
	パワースポット巡り（水無瀬の滝・大沢の杉）	
	カブトムシ相撲	

【まとめ】５年前のしまもと地域活性化アイデアの検証

手作り市、島本音楽フェスなど新たな定期開催イベントができた

離宮の水ブランドで島本を発信するものができた

フェイスブック・島本町広報など、町内に周知する手段ができた

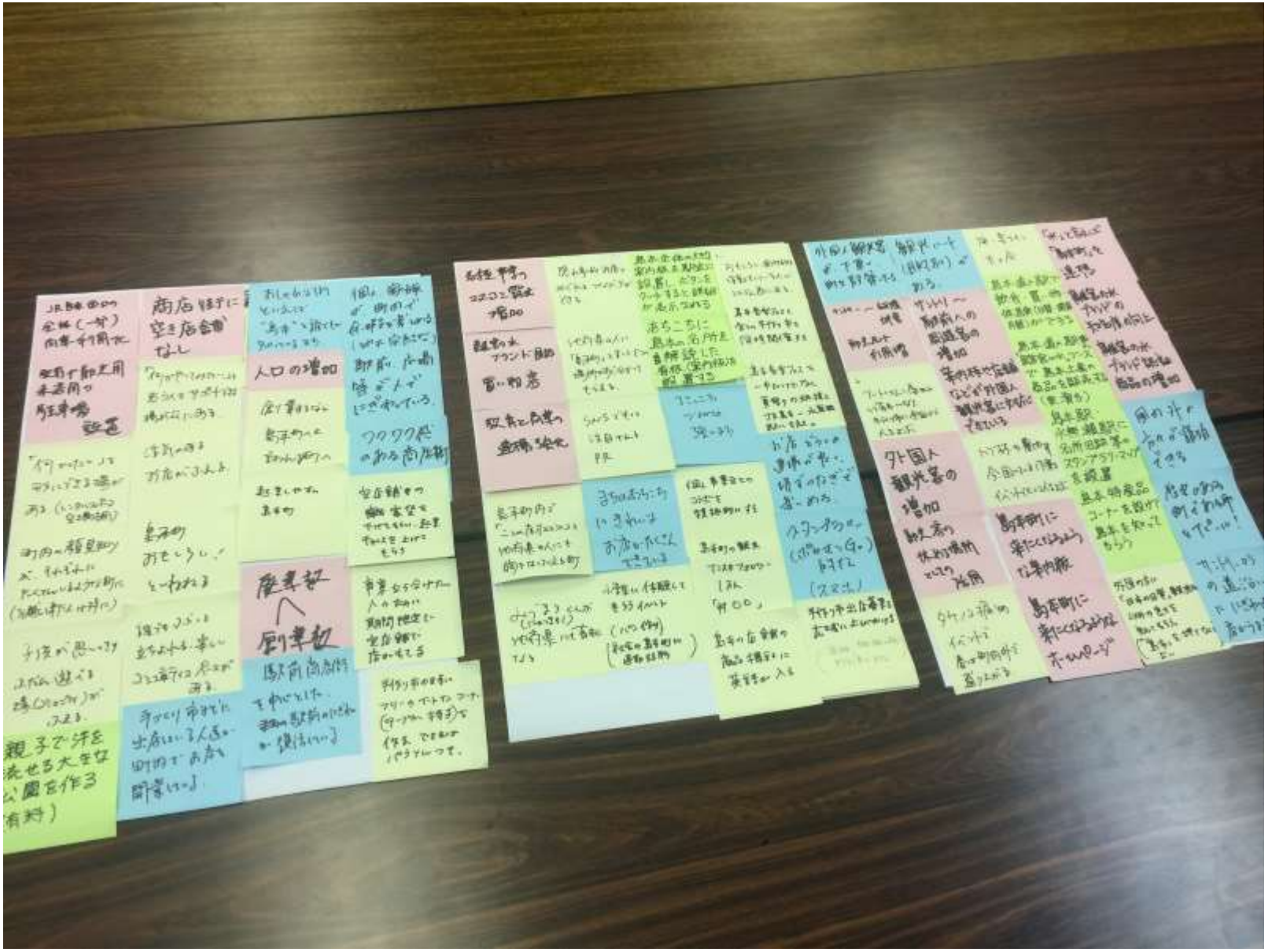
島本町のにぎわいの礎ができた5年間だった

Copyright(c) Iwahashi Management Service All Rights Reserved.

４．５年後の島本町と自店のにぎわいを考える

最初に、ビジョンの重要性について事例を用いて
説明。その上で、５年後の島本町と自分の店が
どうなっているかを付箋でまず個人ワークで書き、
それをグループで発表・意見交換し、全体発表を
行った。

ブレーンストーミングの様子



グループディスカッション要旨

■ Aグループ

- ✓ 自然・島本町の魅力をもっと活用して事業・PRできるのでは。
- ✓ 今のイベントを磨いていく。新しいイベントを発掘する。
- ✓ 西国街道、五六市（枚方市）のような広域イベントを。
- ✓ 空き店舗の活用。
- ✓ 英語教育で人を呼び込む。
- ✓ 一番大事なのは地域のイベント・にぎわい活性化のための核となるプロデューサーが必要。それを育成するしかけづくり。

■ Bグループ

- ✓ 創業したばかりの方が多い。
- ✓ 創業しやすい土台にある。島本町に来たら店舗体験・創業学習ができる町。
- ✓ 商店街活性のためのイベントを町全体・商店街連携でやっていく。
- ✓ 「どこに、なにがあるか」マップなどが必要。
- ✓ 情報共有。紹介が相互にできることがにぎわいにつながるのでは。
- ✓ SNS活用。フェイスブックだけでなく、インスタグラム。
- ✓ 外国人対応。メニューなどの多言語化。

個別のアイデアについては別紙参照

感謝

■革新を生み出す3つの疑問

「なぜ　〇〇　だろう？」

「もし　〇〇　ならばどうだろうか」

「どうしたら　〇〇　できるだろう？」

今日考えたビジョンは、「もし、島本町が２０１４年に、このようになったらどうだろうか」を意味。

次は「どうしたら、２０２４年の島本町ビジョンが実現できるだろうか。」をそれぞれが主体的に考え、取り組むこと。

Copyright(c) Iwahashi Management Service All Rights Reserved.